

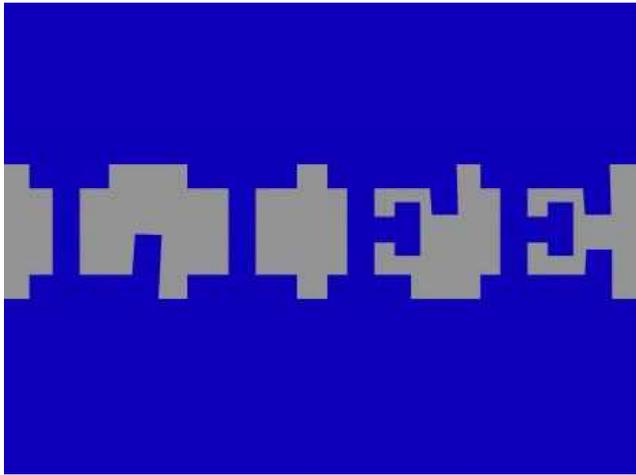
見方を変えると

梅林中 一年 MS

私たちは、普段様々な物を見ている。だが、その一面のみが物の全てとは限らない。

左の絵を見てほしい。一見、何を表しているのかわからない絵だ。しかし、上下の黒い部分を隠すと、とたんに「LIFE」（ライフ）という文字が浮かび上がる。このように、中心とするものを変えると、見えてくるものも変化するのだ。

これは日常生活でも言えることで、例えば、今あなたが花を見ているとしよう。その花にチョウが止まると、あなたの目はたちまちチョウに引きつけられる。このとき、花はただの背景に過ぎない。逆に、そ



の花があまりにきれいで、花に集中していると、チョウは背景になってしまふ。

左の絵はどうだろう。猫を抱いた男が一人、窓辺のソファに座っている。しかしこの男の未来は決して良いものではないだろう。



この絵を遠くから見ると、大きなどくろが見えてくる。一つの絵でも、距離を変えてみると、違う物が見えてくるのだ。

日常生活でも、遠くから見るとききれいな公園も、近くに行くとゴミが多く、汚い、というようなことがよくある。

これらのように、一つの物も見方を変えると新しい一面が見えてくる。普段から、一度見ただけで、これと決めつけず、違う見方をすると面白い発見があるかもしれない。